

第1学年 国語科		年間指導計画・評価規準・評価計画				
月	指導計画	評価規準			評価方法	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	<p>言葉に出会うために</p> <p>1 学びをひらく</p> <p>計10時間</p>	<p>朝のリレー</p> <p>野原はうたう</p> <p>声を届ける/書き留める</p> <p>言葉を調べる/続けてみよう</p> <p>シンシュン</p> <p>【聞く】情報を的確に聞き取る</p> <p>季節のしおり 春</p> <p>情報整理のレッスン 比較・分類</p> <p>情報を整理して書こう</p> <p>わかりやすく説明する</p> <p>漢字1 漢字の組み立てと部首</p> <p>漢字に親しもう1</p>	<p>聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。</p> <p>登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。</p> <p>集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したり整理したりしている。</p> <p>漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。</p>	<p>場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。</p> <p>日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。</p> <p>情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。</p> <p>目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。</p>	<p>音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。</p> <p>進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。</p> <p>場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。</p> <p>進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。</p> <p>伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p> <p>集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ファイル点検 ・国語ワーク点検 ・ワークシート ・作文 ・発表 ・定期考査 ・自己評価カード (振り返り用紙)
5	<p>1. 読みやすく書くための</p> <p>楷書（毛筆）</p> <p>（書写）計5時間</p> <p>新しい視点で</p> <p>計9時間</p>	<p>漢字の筆使い</p> <p>ダイコンは大きな根？</p> <p>ちょっと立ち止まって</p> <p>思考のレッスン1 意見と根拠</p> <p>話の構成を工夫しよう</p> <p>好きなことをスピーチで紹介する</p> <p>漢字に親しもう2</p> <p>文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう</p> <p>→文法1 言葉の単位 (P238-241)</p> <p>情報を集めよう/情報を読み取ろう/情報を引用しよう</p>	<p>点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。</p> <p>点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。</p> <p>本文中で比較がどのように使われているかを理解している。</p> <p>筆者の主張と事例との関係を理解している。</p> <p>説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。</p> <p>声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。</p> <p>小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。</p> <p>文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。</p>	<p>点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。</p> <p>毛筆で「天地」「春風」を書写するなかで、漢字の筆使いを確かめている。</p> <p>「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。</p> <p>序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。</p> <p>聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。</p> <p>聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。</p>	<p>進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。</p> <p>進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って「天地」「春風」を書こうとしている。</p> <p>文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。</p> <p>進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。</p> <p>話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。</p>	

月	指導計画	評価規準			評価方法	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
6	言葉に立ち止まる	<p>楷書に調和する仮名（いろは歌）</p> <p>文字の大きさと配列（俳句）</p> <p>詩の世界</p> <p>[書く] 詩を作ろう</p> <p>比喻で広がる言葉の世界</p> <p>言葉1 指示する語句と接続する語句</p> <p>言葉を集めよう</p> <p>もっと「伝わる」表現をみざして</p> <p>読書を楽しむ</p> <p>言葉を集めよう</p>	<p>グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。</p> <p>楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。</p> <p>文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。</p> <p>詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p>表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。</p> <p>文中で使われている比喻の文脈上の意味を理解している。</p> <p>指示する語句と接続する語句の役割を理解している。</p> <p>さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。</p>	<p>調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。</p> <p>必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。</p> <p>小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。</p> <p>決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。</p> <p>詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。</p> <p>自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。</p> <p>各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。</p> <p>文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。</p> <p>文字の大まかな歴史を確かめている。</p>	<p>単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。</p> <p>引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。</p> <p>積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。</p> <p>進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で俳句を書こうとしている。</p> <p>文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。</p> <p>進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。</p> <p>積極的に文字の歴史について知ろうとし、学習課題に沿って身近な使用例を調べようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 ファイル点検 国語ワーク点検 ワークシート 発表 定期考査 自己評価カード <p>(振り返り用紙)</p>
7	<p>読書生活を豊かに</p> <p>計7時間</p> <p>1. 読みやすく書くための楷書（毛筆）</p> <p>(書写)計4時間</p>	<p>本のの中の中学生</p> <p>あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ／ブラインドの向こうに見える光</p> <p>読書案内 本の世界を広げよう</p> <p>読書コラム 本との出会い</p> <p>季節のしおり 夏</p> <p>[コラム]文字の歴史を探る</p>	<p>漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。</p>	<p>積極的に文字の歴史について知ろうとし、学習課題に沿って身近な使用例を調べようとしている。</p>		

月	指導計画		評価規準			評価方法
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
8 9	心の動き 2時間 心の動き 計10時間 2. 読みやすく書くための 行書（毛筆） 〈書写〉計5時間	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き出す 項目を立てて書こう 案内文を書く [推敲] 読み手の立場に立つ 言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 [やってみよう] 速さを比べてみよう 行書の特徴	戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。 様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。 情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 共通語と方言の役割や特徴について理解している。 漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。 漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。 漢字の行書の特徴を理解している。	描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。 二つの速さで書き比べる活動のなかで、両者の形の違いを確かめている。 行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確かめている。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。 粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。 積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合おうとしている。 積極的に楷書と行書の違いを考え、学習課題に沿って行書の特徴を話し合おうとしている。	・授業観察 ・ファイル点検 ・国語ワーク点検 ・ワークシート ・発表 ・定期考査 ・自己評価カード (振り返り用紙)
10	筋道を立てて 計13時間 2. 読みやすく書くための 行書（毛筆） 〈書写〉計2時間	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 漢字に親しもう3 [話し合い] 話し合いの展開を捉える 話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 丸み・点画の連続	筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。 自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して、身近な文字を書いている。	筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。 自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。 話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。 毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで、行書の特徴〈丸み・点画の連続〉を確かめている。	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。 進んで行書の書き方（丸み・点画の連続）を理解し、学習課題に沿って「一」「二」「口」を書こうとしている	

月	指導計画		評価規準			評価方法
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11	いにしえの心にふれる 計14時間	季節のしおり 秋 音読を楽しもう いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉 〔書く〕 故事成語を使って体験文を書こう	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。 意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。 書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。 「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。	「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。 「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。 目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。 読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	・授業観察 ・ファイル点検 ・国語ワーク点検 ・ワークシート ・発表 ・定期考査 ・自己評価カード (振り返り用紙)
12	7 価値を見いだす 読書に親しむ 計9時間 (11～12月) 2. 読みやすく書くための 行書（毛筆） 〈書写〉計3時間	「不便」の価値を見つめ直す 〔書く〕 根拠を明確にして、意見をまとめよう 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよう →文法2 文の組み立て (P242-246) 考える人になろう 君たちはどう生きるか／たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬 点画の変化	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。	進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って「大木」「北西」「月光」を書こうとしている。	
1	8 自分を見つめる (12月～2月) 計30時間	少年の日の思い出 〔書く〕別の人物の視点から文章を書き換えよう 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけよう →文法3 単語の分類 (P247-250)	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。	時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	
2	2. 読みやすく書くための 行書（硬筆） 〈書写〉計1時間	随筆二編 構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	

月	指導計画		評価規準			評価方法
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3	振り返り	<p>言葉3 ささまざまな表現技法</p> <p>漢字3 漢字の成り立ち</p> <p>漢字に親しもう6</p> <p>一年間の学びを振り返ろう</p> <p>要点をフリップにまとめ、発表する</p> <p>さくらの はなびら</p> <p>学習を振り返ろう</p> <p>[国語]季節のしおり1</p> <p>計13時間</p>	<p>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</p> <p>漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。</p> <p>声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。</p> <p>情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。</p> <p>詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。</p> <p>曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。</p> <p>課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。</p>	<p>読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。</p> <p>書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。</p> <p>聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。</p> <p>「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。</p> <p>詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</p> <p>温暖化による流水の減少が、環境に与える影響について、網走気象台の観測記録からわかった事実を二つに分けて書いている。</p> <p>「……という警告。」で終わる形になるように、筆者の示した情報と自分の考えを結び付けて書いている。</p> <p>話すときは、聞き手の反応を踏まえて、伝えたいことが伝わるように表現を工夫している。</p> <p>卒業式で歌ったり聞いたりしたい歌について、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠となる事例を挙げて文章を書いている。</p> <p>季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。</p> <p>積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。</p> <p>文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ファイル点検 ・国語ワーク点検 ・ワークシート ・発表 ・定期考査 ・自己評価カード (振り返り用紙)
(1～3月)		<p>2. 読みやすく書くための 行書(硬筆)</p> <p>〈書写〉計1時間</p>				